

# 今年度の活動を報告します

—平成 24 年度 市民活動プラザ六中 ソフト事業推進室 活動報告書—

## 1. はじめに

**市民活動プラザ六中**(6プラ)は、「市民活動プラザ六中管理運営コンソーシアム」(十勝障がい者支援センター、ふれあいデジタル工房、とから共同作業所により構成。代表は門屋充郎)が管理・運営しています。

また、入居するほとんどの事業所・団体によって構成される「市民活動プラザ六中施設利用者連絡会」が、各事業所・団体間はもとより、地域住民との情報共有と連携をはかっています。

## 2. 6プラができるまで

6プラは、**旧帯広第六中学校**跡施設を改修(体育館は耐震強度上の問題により解体。跡地は市民農園として活用)し、平成 24 年 4 月 1 日にオープンしました。

旧帯広第六中学校(旧六中)は、帯広発祥の地を校区に含み、歴史ある名門中学校として知られています。旧六中の閉校(旧帯広第三中学校と統合)が決まったときには、多くの地域住民から惜しむ声や、旧六中跡施設の利用を望む声が、数多く寄せられました。

そこで、旧六中跡施設はさまざまな障がいを持つ人々やその支援団体が利用できる複合型の福祉空間とすること、そして地域住民が支え合いのまちづくりをしていくための拠点施設にしていくこととなり、現在の6プラのカタチに至ります。

## 3. 6プラの役割

6プラには、3つの役割があります。

1つめは、障がいをもった方と一緒に働く場・活動する場であるということです。人(ひと)が生きていく過程で思いがけず障害をもつことになったり、治りにくい病気にかかったりしても、わたしたちはこれまで通りイキイキと自分らしい暮らしがしたい。6プラには、障がいをもった方と一緒に働く場所があります。そして、それを支援するさまざまな団体があります。障がいをもった方でものびのび、イキイキと活動できる環境を整えようと努めています。

2つめは、6プラ周辺にお住いの地域住民の皆さんが、互いに支え合える関係になってほしいとの思いから、毎月さまざまな「仕掛け」を用意しています。例えば、毎月**6のつく日**に開催している「一日食堂」、**8のつく日**に開催している「八の日ジャンプの会」、リサイクル活動などを通じて、6プラに集い⇄語り⇄支え合える関係へ。お住まいの地域のあちらこちらで、こうした関係が築かれていくことを願っています。広い館内を活用したウォーキングの際、廊下で障がいをもった方をすれ違うこともあるでしょう。いつもどおりに「こんにちは」「今日は天気がいいですね」と声をかけ合いましょう。お



### □市民活動プラザ六中

帯広市東11条南9丁目1番地

電話: 0155-24-7598(代)

E-mail: plaza6cyu@gmail.com

URL: <http://plazarokucyu.web.fc2.com/>

Facebook:

<http://www.facebook.com/plaza6cyu>

### □旧帯広第六中学校

昭和 36 年 4 月 1 日に東地区の人口急増により第三中学校並びに第一中学校から分離独立し、現在地に開校。十勝管内でも有数の文武両道の伝統校となる。巣立った卒業生は約 1 万名。帯広市の小中学校統合計画により、平成 23 年に新設された「翔陽中学校」へ統廃合のため、平成 23 年 3 月 31 日帯広市内校で初めて閉校。

### □6のつく日事業

毎月 6, 16, 26 日に開催(平日のみ)。

サポーターや市内飲食店による地域貢献として行われている「一日食堂」や、ふまねつと体験、管内障がい者支援事業所による物販などが好評。

### □8のつく日事業

毎月 8, 18, 28 日に開催(平日のみ)。

十勝管内の提携パン工房から仕入れた「パン販売」や、ボールを使ったストレッチやゲームで地域住民同士の交流の機会を提供する「八の日ジャンプの会」が好評。

互いがお互いの違いを認め、喜びや悲しみを分かち合える地域社会になっていくために。今日からがそのスタートです。

3つめは、地域の防災・減災拠点としての機能です。6プラは帯広市の**指定避難場所**となっています(洪水時は柏小学校)。災害時には、大勢の地域住民が避難できるよう、防災備蓄庫や炊き出し用の回転釜、業務用厨房等を完備しています。また、緊急時に備え AED やストレッチャーなども常備しています。

#### 4. 6プラがめざすまちづくり

地域の支え合いは、多様な層の住民が集い、語らうことで促進されます。それぞれ得意なことや苦手なことがあるのはあたりまえ。得意・不得意が異なる者同士が集まれば、きっとそれぞれの得意なことで誰かの役にたてるでしょう。わたしたちが目指するのは「支えられる側」「支える側」といった立場を超えた、双方向の支援体制づくりです。

つまり、誰もが支え手であり、誰もが支えてもらえる、そんな**豊かな地域社会**をめざしています。

また、6プラでは障がいを持った方にも余暇活動や憩いの場所としてご利用いただけるよう、障がい者の余暇支援活動にも取り組んでいます。1階と2階にある**交流スペース**での音楽鑑賞や軽運動はもちろん広い館内を活用したウォーキング、創作活動などには**調理室**や**木工作業室**をご利用いただけます。普段できないことや、新しいことにチャレンジする場として、そして安心して余暇を楽しむことで、生活の質を向上させる機会として、どうぞ6プラをご活用ください。

#### 5. 誰もが「支え手」で「支えられ手」

6プラはどなたでもご利用いただけますが、できるだけ多くの市民の皆さまに「主人公」になっていただきたいと考えています。また、わたしたちは地域社会の誰もが「支え手」であり「支えられ手」でもあると考えています。ですから、6プラでは「手伝ってほしい人」と「手伝いたい人」の橋渡しはしていません。むしろ誰もが自分ができるコト・得意なコトで誰かを支える側になってほしいと願っています。

6プラで、こうした活動の「要」の役割を果たしている**喫茶コーナー「6's Café」**は、サポーターさんたちによって運営されています。さまざまな世代や境遇の方が集うことで、高齢者が若者をいたわっている姿や、障がいをもったサポーターが来館者の悩みに耳を傾ける姿がしばしば見られます。6プラの新しい試みの成果といえます。

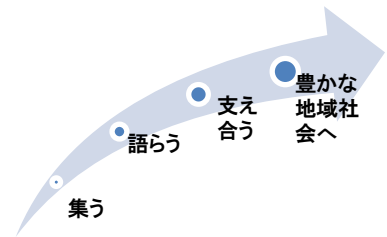
このように誰もが支える側になり得るから「サポーター」。こうしたいわゆる「六中活動」を運営面でもご協力いただきたいという願いと、万一に備えての保険加入を兼ねて、定期的にご利用いただく皆さまには、原則としてサポーター登録をお願いしています。ぜひあなたもサポーターになって、こうした新しい「試み」を応援してください。サポーターへの登録料は 500 円(年間)です。現在までの一般来館者数は2万人を超え、サポーター登録者数は 102 名(3月15日現在)です。

平成25年度も、いろんな人が行き交う「ひとつ屋根の街」へぜひお出かけください。

現サポーターの次回更新月は、入会月にかかわらず平成26年3月です。

#### 指定避難場所

旧六中地区(東オベリベリ親睦、東祥親睦、柏光、東友・東親、東苑、東明、東十和、若草、東の各町内会エリア)の避難場所として2012年に指定。なお、洪水時の避難場所は柏小学校。

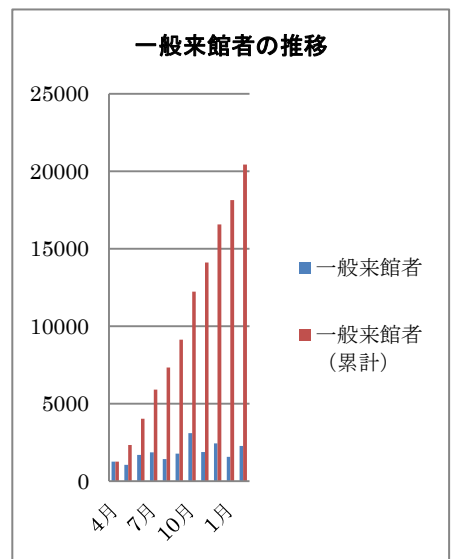


#### 南棟

- 第1会議室 (63名)
- 第2会議室 (30名)

#### 北棟

- 木工作業室 (32名)
- 調理室 (20名)
- ふれあい食堂 (48名)
- 喫茶スペース
- 交流スペース



#### 【発行】

平成25年3月15日

市民活動プラザ六中 ソフト事業推進室

(担当: 山内・齋藤)